

平成27年第2回
周防大島町総合教育会議 議事録（要点筆記）

1 日 時

平成27年10月27日（火） 15時12分～16時15分

2 場 所

東和総合センター ふるさと研修室

3 出席委員

椎木町長、三谷委員長、珠山委員、長尾委員、中村委員、西川教育長

4 事務局出席者

岡野教育次長、山中総務課長、平原学校教育課長、青山学校教育副課長
古崎社会教育課長 小泉総務班長

5 欠席者

な し

6 説明のため出席した者の職氏名

株式会社ウエルウエル保健福祉グループ 亀居元治次長

7 傍聴者

な し

8 協議事項

- (1) 議事録署名委員の指名について
- (2) 周防大島町総合教育会議運営規則の一部改正について
- (3) 周防大島町教育大綱の策定について
- (4) 中学校統合に関するアンケート調査結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

9 議事の概要

◆協議事項

- (1) 議事録署名委員の指名について
(議 長) 議事録署名委員として、長尾委員、中村委員を指名。
- (2) 周防大島町総合教育会議運営規則の一部改正について

(事務局) 総務課長説明

総合教育会議公開の方法として、この規則に、会議の開催に際しての場所、日時、会議に付議すべき事件を告知すること、またただし書きとして緊急を要する場合は、この限りではないとの条文を追加する事務局(案)を提案する。

質疑・要望

特になし

町長 協議事項2について承認いただけますか。

委員 承認。

(3) 周防大島町教育大綱の策定について

(事務局) 総務課長説明

周防大島町教育大綱は、去る9月17日開催の「教育委員会協議会」で協議をした結果をもとに作成。教育大綱は町長が策定するため、町長協議の結果、大綱(案)の内容につき以下のとおり修正を加えた旨説明する。

日本漢字能力検定や実用数学技能検定の検定料を全額助成すること。社会教育課とB&G関係事業の組織再編と教育委員会庁舎の整備を進めること。中学校の英語検定受験料を全額助成すること。大綱の計画期間は平成28年度から平成32年度の5年間であるが、後年の社会情勢の変化に鑑み計画の見直しはできること。教育大綱の配布先については各町議会議員、各小中学校に配布。公表については、周防大島町ホームページに掲載する旨説明する。

質疑・要望

(委員) 英語・漢字・数学各検定の「全額助成」とは、希望者限定かという質問あり。

(事務局) 希望者限定と説明。

(委員) パブリックコメントの方式はとりますかという質問あり。

(事務局) 今回はその予定は無い旨説明する。

(委員) 英語検定を別に掲載している意味は何かという質問あり。

(事務局) 英語教育の充実という項立てを特になしているということ。町はそれに特化して英語教育を実施し国際交流を進めていることを強調する理由で国際交流の項目

へ記載がある旨説明する。

(委員) 英語検定は中学生限定ですかという質問あり。

(事務局) 英語のコミュニケーション能力の高い生徒を育成すること。中学生の受験率が低いので、まずは中学生から広げていくこと。社会の情勢により小学生を対象にという気運が高まれば修正を加える旨説明する。

(委員) では、高校生はとの質問あり。

(事務局) 高校生は、別事業として「語学留学派遣事業」を行う旨説明する。

(委員) B & Gの再編とはとの質問あり。

(事務局) 行政改革の一環として、職員の定員削減を社会教育部門で進める必要があるため検討している。その中で、B & G関係事業が事業の性質上、非常に専門性の高い職員がかかわるため外部組織へ委託するという検討を進めていく必要があると考える。社会教育課各公民館の関係職員、B & G関係職員、あわせて分散した公民館を統合する形で庁舎を1つにしたい旨説明する。

(委員) B & G職員は町職員ですかとの質問あり。

(事務局) 町職員であり尚且つ長期間の研修を受講したインストラクター有資格指導者と説明する。しかしながら、有資格職員は人事の固定化につながる弊害があること。そのため、B & G事業が夏季期間限定ということを検討し新たに「指定管理制度」を取り入れ、そこに町職員が協力する方法ができないか検討している旨説明する。また現在教育委員会が分庁舎ということで、東和総合センターを整備しリニューアルを含めた教育委員会庁舎整備を検討して行く旨説明する。

町長 協議事項3について承認いただけますか。

委員 承認。

(4) 中学校統合に関するアンケート調査結果について

(業者) 担当者報告書に基づき内容説明

(事務局) 中学校統合に関する今後の議論の進め方は、「教育委員会会議」で教育委員としての考えを固め、その後町長との意見の共有を「総合教育会議」で行う旨説明する。

質疑・要望

(委員) データは特別問題無いが、小学校の統合を「1校」と誤解している回答者

はいないかという質問あり。

(事務局) データの出方から判断すると考えられない旨説明する。

(委員) 例えば、沖浦小と三蒲小については、極端な少人数のまま6年間過ごすという現実もあり、パーセント表示だけでは言えない部分があると思う。学校が無くなると地域が疲弊するが、町長・議会の英断を希望するという意見あり。

(事務局) 小規模校が必ずしも悪い訳ではないが、アンケート結果とは別の形で小学校統合についてもっとスピード感を持ってやって欲しい意見がある旨説明する。

(委員) データの取り扱いは今後どうなりますかという質問あり。

(事務局) 12月議会にて、アンケート報告書「成果版」配布を予定している旨説明する。また、新聞社等報道機関にも公表し、町ホームページにおいても報告書の全容を公開する予定の旨説明する。

議長 協議事項4について承認いただけますか。

委員 承認。

(5) 意見交換

特になし

(6) その他

特になし